

# あがの市議会だより

第43号

令和元年  
**12月**定例会号  
令和2年1月15日 発行

## 主な内容

議案ピックアップ・議決結果	P2
常任委員会の活動報告	P3-4
行政視察の受け入れ	P4
市政を問う一般質問(12人)	P5-7
議会報告会での意見ほか	P8

12月19日あがの市民病院でクリスマスコンサートが開催されました。



12月25日あがの子育て支援センターにここのでクリスマス会が開催されました。



## 12月定例会が 12月3日～13日の 会期で開かれました

### 3日 本会議

- 一般行政報告 ■議案の提案説明
- 一般質問1日目(5人が質問)

### 4日 本会議

- 一般質問2日目(5人が質問)

### 5日 本会議

- 一般質問3日目(2人が質問)

### 9～11日 各常任委員会

- 委員会に付託された議案を審査

### 13日 本会議

- 各常任委員会の審査報告のあと  
討論を経て採決

※議決結果は2ページ

市民の皆様には、希望に満ちた新春を迎えられましたことをお喜び申し上げます。昨年中は、市議会に対しまして特段のご理解とご指導をいただきましたことにより、議会活動に精励できましたことに心から感謝申し上げます。

振り返れば、昨年は元号が令和に改められ、消費税率の改定など私たちの生活に大きな影響を及ぼす出来事がありました。阿賀野市においても、安野川改修や、国道四十九号水原バイパスなどの大型事業が進む一方で、急速に進む人口減少と高齢化をしっかりと見据え、将来にわたる行政サービス維持のための対応整備が急務となっております。

新しい年におきましても引き続き、市民の方々から信頼される議会をめざし積極的な情報発信に努めながら、皆様の多様なご意見を真摯にお伺いし市政に反映していくよう、緊張感を保ちながら知恵を出し合い建設的な議論を積み重ねて参る決意でありますので、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が穏やかで市民の皆様にとって幸多く、実り豊かな年となりますように心よりお祈りいたします。



阿賀野市議会議長  
風間 輝 榮

新年あいさつ



本年もよろしくお願い申し上げます

提案された議案について、さまざまな視点から審議を重ねます。  
12月定例会の議案の中から4つの内容をお知らせします。

## 議案ピックアップ

### 一般会計補正予算（第3号）より

#### 市立図書館プログラミング教育支援機器導入 103万円

来年度から小学校で必修化されるプログラミング教育に対応するため、市立図書館にタブレットパソコン等が配置され、来館した小学生等が利用できるようになります。教育支援を目的とした寄附金を活用します。

### 一般会計補正予算（第4号）より

#### 放課後児童クラブ運営事業費 210万円

来年度新たに神山小学校に開設する「神山児童クラブ」の準備のための工事費と、「やすだ児童クラブ」の活動場所をコミュニティセンター城のうちへ移転するための工事費。

#### 特定不妊治療費助成事業費 80万円

特定不妊治療費助成金について、当初予算編成時の見積もりを上回る実績が見込まれるため、今後の申請に対応できるよう増額補正されました。

### 水道事業会計補正予算（第2号）より

#### 収益的収入特別利益 4,296万7千円

東京電力株式会社に対する放射性物質を含む浄水発生土の保管・処分費等の平成30年度分賠償請求額が確定したことにより収入が増額補正されました。

**問** 放射性汚泥の量はどの程度か。現状での保管状況と今年度の搬出状況は。

**答** いまだに保管している8000ベクレル以上の汚泥は200トン。これについては国の方針が決まるまで、このまま継続して保管し続けなければならない。今年度は、100ベクレル以下の通常の浄水発生土を5月13日から5月22日に340トン搬出した。今後410トンほど搬出の予定。



## 12月定例会の議決結果をお知らせします

### 全会一致で議決した議案等

議案名	審査した委員会※	議決結果	
選挙 阿賀北広域組合議会議員補欠選挙	-	※1	
※1 指名推薦により清野栄一議員が当選			
専決 一般会計補正予算(第3号) 令和元年11月15日専決	省略	承認	
令和元年度補正予算	一般会計補正予算(第4号)	総文・社厚 産建	可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	社厚	可決
	介護保険特別会計補正予算(第3号)	社厚	可決
	水道事業会計補正予算(第2号)	産建	可決
	下水道事業会計補正予算(第3号)	産建	可決
	一般会計補正予算(第5号)	総文・社厚 産建	可決
	介護保険特別会計補正予算(第4号)	社厚	可決
条例	阿賀野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部改正について	総文	可決
	阿賀野市特別会計条例の一部改正について	産建	可決
	阿賀野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	社厚	可決
	阿賀野市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	社厚	可決
阿賀野市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	社厚	可決	

議案名	審査した委員会※	議決結果	
条例	阿賀野市下水道条例の一部改正について	産建	可決
	阿賀野市水道給水条例の一部改正について	産建	可決
	阿賀野市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総文	可決
	阿賀野市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	総文	可決
	阿賀野市児童クラブ設置条例の一部改正について	省略	可決
その他	新発田地域老人福祉保健事務組合の規約の変更について	社厚	可決
	新発田地域老人福祉保健事務組合の解散について	社厚	可決
	新発田地域老人福祉保健事務組合の解散に伴う財産処分について	社厚	可決
	下越障害福祉事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	社厚	可決
	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	総文	可決
発議	市道路線の変更について	産建	可決
	市道路線の認定について	産建	可決
	核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出について	省略	可決

◆各委員会での審査結果は市ホームページでご覧になれます。

※ 省略：本会議で即決したもの  
総文：総務文教常任委員会  
社厚：社会厚生常任委員会  
産建：産業建設常任委員会

### 意見が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対 議長(風間輝榮)は採決には加わりません。

議案名	審査した委員会※	議決結果	公明党	日本共産党			新政クラブ		阿賀野クラブ			ネオあがの		会派の所属なし					
			村上清彦	倉島良司	宮脇雅夫	稲毛明	江口卓王	近山修	山崎正春	浅間信一	山口功位	高橋幸信	市川英敏	天野美三男	遠藤智子	石川恒夫	山賀清一	清野栄一	横井基至
核兵器禁止条約の調印を求める意見書の提出に関する陳情	総文	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
陳情 討論(要旨)	反対意見	核兵器禁止条約は、核兵器保有国のみならず日本と同様に核の脅威に晒されている非核兵器国からも支持を得られていない。核兵器不拡散条約(NPT)を運用し現実的な取り組みを行っている日本政府の見解を支持する。核廃絶は理念だけでなく、安全保障の観点も必要。																	
	賛成意見	反対意見は、核兵器保有国と非保有国の橋渡しをするべきだとしているが、日本は唯一の戦争被爆国であり、他人事ではすまされない。核抑止論の立場や核の傘論では、ローマ教皇も訴えているように平和は実現できない。日本は、核兵器禁止条約批准の先頭に立つべきだ。																	

## 総務文教 常任委員会

総務部所管の市政全般の企画や調整、財務、市税、防災、教育等に関する調査や議案・請願等を審査します。

11月1日に所管事務調査を行いました

### 通学路点検における危険箇所の状況について

平成30年度に主に防犯の観点から行われた、学校、自治会、警察、市の関係者などの合同点検の結果と、毎年4月に実施している通学路点検の今年度の結果を踏まえ、今回は市内2カ所の危険箇所について現地調査を行いました。

1カ所目は窪川原地区阿賀野バイパス予定地の側道、ボックスカルバート付近。今までは国道49号から通学路を見通せていたが、バイパスが完成すると陰に



窪川原地区阿賀野バイパス予定地の側道ボックスカルバート付近を視察

なってしまう、人の目が行き届かなくなることが懸念されている場所です。窪川原の子ども達はバイパスに沿って歩くことになり、人がいない上にボックスカルバートが近くにあることから、不審者についても心配されます。市教育委員会では、地元の方、学校とよく相談し、安全な通学路を確保できるように毎年点検していきたくのことでした。

2カ所目は笹岡小学校前の市道山崎次郎丸線。塚田川と並行して通る市道が通学路となっており、幅員が狭く、一部ガードレールがない部分があり危険であると指摘されています。また、金屋線と次郎丸線の合流点に横断歩道設置の要望も出ているところ

です。実際現地へ行ってみると、道幅が狭く、マイクログラスでは対向車とのすれ違いもやっとな状況で、特に冬場や天候の悪い日は危険だと感じました。市教育委員会では毎年建設課経由で新発田の地域振興局へ要望しており、少しずつガードレールの延伸工事が行われているそうです。また、昨年度は薄くなった外

閉会中の継続調査事項(3月定例会まで)  
食品乾燥施設(旧大和小学校)の現況について



側線の塗り直しを実施し、その際10センチ車道側のほうに寄せて歩行空間を確保したとのことでした。  
通学路点検の結果は道路管理者や警察などに報告し、順次対策が進められているということですが、委員からは山崎次郎丸線のガードレール設置についてもっと強く県に申し入れ、早急に話を進めてほしいとの要望がありました。また、歩道の設置、道路拡幅等の工事をすぐに計画するのが難しいのであれば、通学時間帯にスクールゾーンを車両通行止めにするなどの手立ても必要なのではないかという意見が出されました。今回現地調査に行くことができなかった所も含め、危険箇所として指摘された場所についてしっかりと検証し、地域の見守り等のご協力もお願いしながら安全な通学路の確保に努めてもらいたいと思います。

## 社会厚生 常任委員会

民生部所管の福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、生涯学習等に関する調査や議案・請願等を審査します。

10月29日に先進地研修を行いました

### 千葉県流山市 子育て支援について

流山市は、四季に恵まれた歴史豊かな住宅都市です。平成17年のつくばエクスプレスの開通により、都内まで最短で約20分まで到着できるようになり、沿線には区画整理された市街地が形成されています。

市民も事業者も使用可能なロゴマークを作成して、市内外、特に首都圏に向けて発信する等、官民間わず市全体で流山市の発展に向けて取り組んでいると感じました。

#### 流山市の人口について

平成17年の152,499人から平成31年4月には191,792人となり、特に年少人口と30〜50歳手前の子育て世代の人口が増加している。平成31年4月の18歳以下の割合は全体の15.5%。この右肩上がりの状況は5〜10年は続くと思込んでいるとのこと。転入超過率は全国8位、人口増加率は千葉県で1位となっている。

#### 子育て支援について

新しいまちづくりを進める中で、子育てにやさしいまちづくりが市の施策として位置づけられた。平成19年に議

11月7日に所管事務調査を行いました

### 五頭連峰少年自然の家の利用状況と施設の現況について

五頭連峰少年自然の家は、自然公園の麓に位置し、山や林、川など自然に囲まれています。主に阿賀野市内や近隣市町村の小中学生が訪れており、集団生活や自然体験学習を通して、人間性を豊かに育む活動ができる施設として利用されています。

#### 利用状況について

平成30年度利用者数は、日帰り宿泊の合計が、市内利用者2,615人、市外利用者5,676人、合計8,291人。全体的に小学校の児童数は減少

会発議で制定された「流山市子育てにやさしいまちづくり条例」は、市と市民、事業者が果たすべき役割を明記した理念条例となっている。

また、女性の就業率の上昇を踏まえた子育て環境づくりにも取り組んでおり、合計特殊出生率は1.65と千葉県及び全国指数を上回っている。

流山市では現在、子育て世代の定住のために保育所等の整備、地域の子育て支援の充実の2点を重点的に行っているとのこと。

#### 保育所等の整備について

待機児童もおり最重要課題であるが、保育士の確保と新設場所に苦慮している。保育士確保対策として保育士修学資金貸付制度などを行っている。また、駅から保育所に子どもを送迎する送迎保育ステーション事業を実施し、働く保護者の負担軽減と保育所間の園児数の偏りの改善が図られている。

#### 地域の子育て支援について

遠くからの転入者は地域の方とふれあう機会が少なく、アウェイ育児などといわれる1人での子育てで不安を感じ

傾向にある中、近年は年間の利用者合計8,000人前後で推移している。

#### 施設の現況について

体育館、トイレ等建物内の各部屋と、屋外にある炊飯場等を視察。転倒時にけがをしにくいよう炊飯場の周りにウッドチップを敷くなど、よく管理されているが、外にトイレがない、体育館の床がきしむ等、施設が古く不便であることは否めない状況。

委員からは、「トイレが不足。建物が傷んでいる。施設改修が必要。」県内



流山市で子育て支援について研修を受ける

じがち。子育て支援総合窓口等で各種相談ができる体制になっており、地域にある子育て支援センターは、親同士の仲間づくりの場でもあり子育てが「孤育て」にならない安心感につながっている。  
その他虐待防止策等、多様な子育て支援事業について説明を受けた後、委員から病児保育、医療費助成等について質問し、詳細な説明をいただきました。

の同様の施設と比べても使用料が安価。大いにPRしてほしい。「沢登り」など自然体験を売りにして、少子化の中でも利用者数を維持確保してほしい。「」など意見が出されました。



自然の家を視察(炊飯場付近)

産業建設  
常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等を審査します。

10月15・16日に先進地研修を行いました  
福島県国見町・栃木県益子町道の駅の運営について

国見町は平成23年に発生した東日本大震災と原発事故からの復興のシンボルとして、交流の拠点・情報発信と防災の基地をコンセプトに、道の駅基本設計を策定し3年後の平成29年5月3日にグランドオープンしました。オープン時は、人員・備品などの初期投資額が非常に多く経営は赤字で現場も苦しかったようですが、次年度からは人員整理等事業見直しを行い三年目によりやく安定経営となりました。

町が100%出資した第三セクターが、道の駅の指定管理者となっており、独立採算を前提とし民間の発想を持った収益事業を行い効率的な運営をしています。直売所の野菜などは、9割が国見町産で他市からの仕入

れは1割にとどめているようです。

益子町は、「食と農を産業とする」をテーマに、道の駅担当者である職員が構想からオープンまで約7年をかけて、議員、地域住民、関係団体と議論しながら創り上げた事業です。道の駅実証店舗「ましこマルシェ」を開設し開駅まで生産者とのつながりや運営ノウハウの経験を積み、また内外アピールに努めてきました。来客層を30代の女性をターゲットとして、施設内の商品開発や商品陳列、カフェやレストランのメニューが考えられていて、実際の客層も休日はそのような客層が多いようです。平成30年度決算1,394万円の黒字でした。

国見町も益子町もそれぞれ、

10月31日に所管事務調査を行いました  
道の駅整備計画に関する活動状況について

現在、建設予定地に土台となる盛り土の仮置き、敷均、積み重ねを行っています。盛り土量については約6万立方メートル、2×2.5メートルを盛り土する予定です。土砂は、阿賀野川右岸、阿賀浦橋とJR羽越本線鉄橋付近を掘削している現場から搬入しており、今年度中には計画量の搬入を完了する予定で進めています。この盛り土により道の駅の防災機能について要を満たす高さは確保できる

計画です。指定管理者の公募条件は、基本的に、他の道の駅の公募条件等を調査して、それに準じた形を検討しており、ガイドラインやほかの事例を含めると、任意団体でも十分指定管理者になることができます。現在、建物の基本設計段階であるとのことでしたが、是非安田瓦を使っていたらいいと思います。

これから、令和4年夏の完成までに指定管理者の公募・決

閉会中の継続調査事項（3月定例会まで）  
阿賀野市の農業について



道の駅予定地の現場進捗説明

定、事業認定手続きなど多くの工程があり、道の駅整備計画の進捗について、継続して調査を行っています。



視察先 道の駅国見あつかしの郷にて

地域活性化や運営安定のために様々な関係者との繋がりを大切にしているものと感じました。そして、地域を愛し、また衰退させないために、まず地域の人材育成が大切なのだと思っていました。

令和2年4月から阿賀野高校が変わります

普通科として基礎学力を身につけながら、専門的な知識を学ぶ科目も選ぶことができる「総合選択制の高校」となります。阿賀野高校では、商業系の科目が選択できるコースを設置します。

令和2年度入学生の卒業までのイメージ

1年生	共通の授業で基礎学力を定着	
2・3年生	<b>地域探究コース</b> 普通教科に加え、商業系科目の選択も可能です。また、地域課題の解決などにも取り組みます。	<b>教養コース</b> 大学等への進学を目指し、進路希望に合わせた教科・科目を選択することができます。
卒業後の進路	就職・専門学校への進学等	大学等への進学

阿賀野高校では、これまで以上に地域の期待に応える人づくりを目指します。

議会を傍聴しませんか

申し込みは必要ありませんが、傍聴席入口で受付簿に住所、氏名のご記入をお願いします。



市政を知る良い機会です。議会傍聴にぜひおいでください。

広報あがのや  
県民だよりも読めます

スマートフォン・タブレット用アプリ

マチイロであがの市議会だよりが読める!

利用の手順

1. 検索サイトで「マチイロ」と検索し、アプリをインストールする。
2. アプリを起動し、「お住まいの地域」を「新潟県阿賀野市」に設定する。
3. アプリ画面から「あがの市議会だより」の画面をタップし、ダウンロードする。

注意事項

- ・「マチイロ」は株式会社ホープが運営するアプリです。
- ・アプリは無料でダウンロードできますが、通信料がかかります。
- ・アプリ画面には広告が表示されますが、市がその内容に責任を負うものではありません。

ようこそ阿賀野市へ

行政視察受け入れ

10月16日に宮崎県日南市議会文教厚生常任委員会、10月29日に高知県安田町議会、10月30日に北海道小樽市議会会派(立憲・市民連合小樽市議会議員会)の皆さまが来庁され、研修を行いました。



安田町議会 財政状況、人口減(定住)対策等についての研修



日南市議会 子育て支援、就学援助制度についての研修



小樽市議会 暮らしの中に塾のコンビニ！市民総活躍のまちづくり事業についての研修



新政クラブ  
近山 修

### 市長の選挙公約に 対する自己評価

**質問** 田中市長の2期目の任期も、あと4カ月となった。この間、阿賀野市総合計画を策定し、7つの政策を掲げて阿賀野市の発展に向けて努力してこられたが、自己評価をどの様にされるのか伺う。

**答弁** 就任当初に掲げた「安全・安心な暮らしの実現」など5つの政策とそれを支える2つの政策「市民協働の推進」「信頼される行政経営」を基本に、それらの実現のため全力で市政運営にあたってきた。実現できたものや、実現に近づいているもの、

思ったほどうまくいっていないものなどがあるが、それなりにできたと考えている。

「安全・安心な暮らしの実現」では、阿賀野川、安野川など河川改修の整備促進、防災無線の整備及び自主防災組織率の向上など、ハード・ソフト両面で防災・減災対策を強化した。地域医療では、必要な医療が受けられるよう医師の確保に努め、あがの市民病院内に生活習慣病予防治療センター、消化器病センター、運動器疾患医学講座を開設し、診療機能を強化した。

「子ども育成支援の充実」では、高校卒業までの子ども医療費助成や病児保育、子育て支援センターの開設など、子育て環境の充実に取り組み、教育では、放課後スクールや温故塾を開設、学校の耐震化、全校にエアコンを設置し学習環境を改善した。

「高齢者・障がい者福祉の充実」「地域経済の活性化」「生活に密着した住環境の整備」に取り組んできた。

「信頼される行政経営」では、平成30年度決算では、実質公債費比率10・6%、経常収支比率88・2%、財政調整基金など3基金54億円を確保、成長戦略と財政健全化の両立を図ってきた。



ネオあがの  
市川 英敏

### 鳥獣害対策について

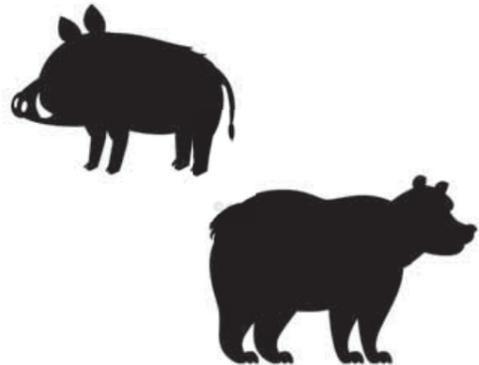
**質問** 鳥獣は自然環境を構成する重要な要素の一つであり、生活環境を保持、改善する上で欠く事のできない役割を果たしているが、近年、クマ、ニホンジカ、イノシシ、サル、タヌキ、ハクビシンなどの生息分布域が拡大しており、中山間地だけでなく、市街地付近でも鳥獣の出没が多く確認され、農作物の被害はもとより人的被害も多く発生している。

農村では高齢化や過疎化が進み捕獲や被害対策の担い手も減少する傾向にあり、これらの事を踏まえ、本市ではどのような対

策を行っているのか伺う。

**答弁** 近年、鳥獣の生息域の拡大や増大により、農作物のみならず人的被害の多発が大きな社会問題となっている。当市の被害防止計画では、ニホンザル、ツキノワグマ、イノシシを対象鳥獣と定め、個人並びに地域住民の協力による放任果樹などの誘因物の除去、緩衝帯の整備などを実施し、市鳥獣被害対策実施隊によるサルの追い上げ・追い払い活動や罠による捕獲、地域住民への対策指導などの対策を行っている。

ツキノワグマ等の人的被害が想定される目撃や被害痕跡発見の通報があった場合には、速やかに警察署、消防本部及び庁内関係課と情報を共有し、防災行政無線や安全安心メール、警戒パトロールなどで注意喚起を実施し、現地確認や必要に応じて実施隊による罠、檻を設置する



など被害の拡大防止に努めている。

また、全国的に捕獲の担い手の高齢化や人材不足が深刻な問題となっていることから、市では有害鳥獣の捕獲に協力することを承諾した者に対し、狩猟免許の取得費用を補助する制度を設け、鳥獣害対策の担い手の確保に努めている。



無会派  
清野 栄一

### 道の駅について

**質問** 今年3月、北海道行政評価局が北海道の道の駅の調査結果を公表、これによると、冬期の集客や売り上げが難しい、市町村の補助がないと殆ど赤字、国の施設の維持費用が大きな負担などの課題を挙げ「道の駅の整備の可否は十分な検討と慎重な判断が必要」と報告。そこで、①道の駅の必要性、②施策における優先度、③経営シミュレーションについて伺う。

**答弁** ①地場産品の販売促進、地場産品の振興を期待。②地域経済の活性化、人口減少抑制効

果などを期待、優先度は高い。③指定管理者が未定のため回答は控える。

### 地域医療体制の課題等

**質問** 厚生労働省は医師・看護師不足、公立病院の赤字の増大等を理由に「あがの市民病院」など、424の公立病院等について再編対象として実名を公表。地域医療を護る観点から①公立病院再編整備案について②救急搬送の現状と課題について伺う。

**答弁** ①地域医療調整会議において存続の必要性を主張し医療体制の確保に努める。②平成30年は搬送人員1605人のうち、新発田病院583人、あがの市民病院435人となり市民

病院の受け入れは年々増えている。③市民病院の受け入れは増えていると言いが、10年前と比較率は変わっていない。市長は平成28年の再選時、救急告示について2年を目処に再開を目指すとしていたが。

**答弁** 医師の数や高齢化もあり難しい。

**意見** 県の最新の第7次医療計画では2次救急医療対応可能病院とされている。救急再開に向けて早急に取り組むべき。

### ●その他

**消防団員の処遇改善について**  
20年間改定無し、10年間県下最低の年報酬(1万4千円)について、県平均並みへの要望をした。



日本共産党  
稲毛 明

### 農業振興について

**質問** 今年も農家所得が大幅にダウンしている。農協ではその被害は軽くないとみて、緊急融資制度を設定し、その軽減に努めている。

市はどのように受け止めているのか伺う。

**答弁** 作況指数は「103」(10月31日)の「やや良」との結果となったところである。市でもコシヒカリの一等米比率が低下したが、作況指数や仮渡金単価の増額により、農家経営への影響は最小限にとどめられていると考える。

**質問** 基幹産業であるとして、その位置づけは重いとみていると市長の発言を聞いているが、いつも疑問に感じる。振興策等はいくつかもっているが4、5年同じことしかやっていない。基本的になんら変わっていない。もし、稲作が市の基幹産業であるならば、もっと手厚い助成等をもっとよいのではないかと。

来年度予算は何を打ち出し、市農業の振興をはかるのか。

**答弁** 現在、来年度予算の編成作業を進めているところであるが、引き続き圃場整備を推進すること水田の汎用化、低コスト化につなげる。中山間地域や多面的機能の取り組み支援、環境保全型や安全安心の農作物生産のための堆肥散布による土づくり等で水稲農家を支援する。園芸の新規導入や規模拡大を支援する。水稲に偏らない経営を

目指して所得向上を目指す。

### 人口減について

**質問** 合併した市町村ほど人口減がはげしいと言われている。新潟県は合併のトップレベルである。合併と人口減についてどのように受け止めているのか。

**答弁** 人口減少の要因については婚姻率の低下、出産世代の転出超過、あるいは晩産化など複合的要因があり、合併だけがその原因ではない。





日本共産党 宮脇 雅夫

### 市長の実績と政治姿勢を問う

**質問** 市長はこの間の公約と実績をどう評価しているか。

**答弁** 「安全安心な暮らしの実現」など5つの政策とそれを支える「市民協働の推進」「信頼される行政運営」を基本に、市政運営にあたってきた。その中には実現できたものや、実現に近づいているもの、思ったほどにうまくいっていないものなどあるが、それなりにできたものと考えている。対話集会は20回開催し、530人参加。

**質問** 憲法9条改定、消費税増税、国連の核兵器禁止条約を日

本政府が反対、ジェンダー(社会的・文化的性差)平等についての見解・認識は。

**答弁** 憲法改正はなぜ必要なのか、国民に丁寧な説明がなされるか、国民に丁寧な説明がなされるか、幅広い議論と国会での徹底審議が必要。消費税の引き上げは、増大する社会保障に対応するため、本意でないが避けて通れない問題。核兵器禁止条約を批准しない考えは、日本は唯一の戦争被爆国であり、理解に苦しむ。ジェンダー平等については、国連で採択された人権保障、暴力、差別のない社会の実現、女性参画などの目標実現が必要と認識している。

### 養牛場の悪臭は続いている、抜本的対策を

**質問** 6月議会で、養牛場の悪臭対策について一般質問したが、その後の対策はどうか。施



日本共産党 倉島 良司

### 食料自給率の向上のために

**質問** 日米貿易協定承認案が衆議院外務委員会で可決されたとの報道があり、穀物自給率では173カ国中124番目であった。米国の食料自給率は130%、農業生産額に対する農業予算は日本が27%、米国65%。農業切り捨ての政治を続けてきた結果、若者が安心して農業に就ける条件が著しく損なわれてきた。なぜ食料自給率37%という低い数値が出てくるのか。その原因はどこにあるのか。みんな一生懸命耕作している。1999年に廃止された農業

基本法では農産物の価格保障制度等も実現されていた。価格保障、戸別所得補償の復活で農家が元気を取り戻せる行政が今求められているのではないか。外国依存を改め、国内産業に力を入れ、名実ともに基幹産業となるよう、産業基盤再建に努め、国、県、農業商工団体に働きかけるなど、手を尽くす。まさに市長の姿勢が問われるのではないか。

**答弁** 農林水産省が8月に発表した平成30年度日本の食料自給率によると、カロリーベースで37%と過去最低。主要先進国の中でも低い水準にあり、私もこれを危惧している。「食料・農業・農村基本計画」では、食料自給率の目標が当初の50%から実現可能性を考慮して45%に引き下げられたが、達成は厳しい状況。食料自給率の向上には食品ロスを削減する政策も併せて行う

設の抜本的改修が必要でないか。

**答弁** 7月10日に実施した、安田地区の養牛場敷地境界での測定では臭気指数15で、3月の測定13に続き、規制基準の12を超過。県と立ち入りを行い、臭気の主原因である、堆肥の場外への運び出しや敷料増量による抑制を指導した。苦情は、安田地区で6件、水原地区で4件。水原地区を含め、引き続き臭気測定を行い、指導していく。



ことが有効であり、国を挙げて対策に取り組み、農業者だけでなく消費者である国民一人一人が意識することが重要。本市においては、米の消費拡大、農産物の地産地消を積極的に進めているが、今後はさらに自給率の低い園芸品目の作付け並びに消費を増加させる取組を進め、基幹産業である農業の振興と食料自給率の向上に努める。



無会派 遠藤 智子

### 未成年後見制度について

**質問** 親権者の死去や親権喪失停止等で未成年者の親権を行う者がいなくなった場合、親族らが家庭裁判所に申し立て、家庭裁判所が選任した弁護士や社会福祉士が後見人として未成年者の財産管理や契約などを行い、子ども達が安心して地域の中で育つことができる仕組みと理解しているが、多様な社会背景の中で子どもを取り巻く現状は厳しい中にある今日、当市でも未成年後見の取り組みの検討と、市民への制度の周知を図って行くべきでは。

**答弁** 本年11月現在の当市の未成年後見制度利用者は1名。児童相談所が措置している世帯で、市も要保護児童として相談支援を行っている。一般的に未成年後見が必要となる場合、児童相談所が家庭裁判所への申し立てを行っている。今のところ未成年後見の取り組み予定はないが、今後、他市の状況を充分調査し、未成年後見制度にはどういった仕組みが必要か、成年後見制度を参考に前向きに考えていきたい。

### 安田インター駐車場までの道路整備について

**質問** 県道から駐車場までの道路幅の狭い箇所は、平成27年度の駐車場拡張工事後に検討することだったが、時間の経過により土地の確保が懸念される。駐車場の利用は地球温暖化



安田インターの駐車場

防止に寄与しており道路の利便性を図ることは、自治体の役目ではと見え、その後の検討について伺う。  
**答弁** 駐車場に通じる道路は、幅員が狭くすれ違いが困難な箇所もあるが、駐車場は利用可能台数に対し41%の利用状況で通行に際し幾らか不便さはあるが、大きな支障はないとの判断から、駐車場の拡張が必要になった時点で、進入路の幅員を考えた。



無会派 石川 恒夫

### 市職員人事評価実施事業

**質問** 平成30年度決算概要によれば、この事業が人材育成に役立っていると思う職員が26.4%、適正に評価されていると思う職員の割合が51.5%となっている。この結果について市長の率直な感想を伺う。

**答弁** 平成28年度に導入したもののだが、両指標とも前年度より低下しており、評価のやり方を見直すなど改善の余地が多くあると考える。

**質問** 由々しき状況。原因・課題を明確化し抜本的見直しも必要。今年度も継続事業として当

初予算化しているが、どの様に改善対応しているのか伺う。  
**答弁** 「課の目標の明確化」「技能労働職の目標設定の簡略化」「目標の妥当性チェック」「目標以外の業績評価」の4点で過去3カ年を検証。研修会内容の見直しもしている。

**質問** 若手職員が自ら命を絶つという残念な事案も発生している。各種ハラスメントを含め、職場環境の実態調査を実施しているか伺う。

**答弁** 平成24年度にハラスメント含め「職場環境アンケート」を実施以来行っていないが、労働安全衛生法に基づいて衛生委員会による職場環境調査、メンタルヘルス講習会、ハラスメント相談窓口設置の周知などを実施している。

**意見** 職員が気概を持って働ける職場でないとするれば市民にとっても不幸な事。職員は、市

### ●その他 公立・公的病院の再編統合 (案)について質疑



# 一般質問



公明党  
村上 清彦

## 防災の取り組みについて

**質問** 台風19号により、当市でも阿賀野川の水位が上昇し、避難所が開設されたが、対策について問題等はなかったのか。  
**答弁** 避難してこられた人のご協力もあり、大きな混乱もなく受け入れができたものと考えている。

**質問** 避難所でのアレルギー疾患対応は考えられているのか。  
**答弁** 配慮を要する人については別室を案内する等の訓練を行なっている。備蓄食料も特定アレルギー物質となる27品目を含まないものを準備している。



ネオあがの  
天野美二男

## 地域医療体制の充実・確保について

**質問** 厚生労働省は、9月に全国の公立病院などのうち、再編や統合を議論するべきだとする全国424の病院について実名を公表した。国が病院再編の議論を進めようとする背景には、深刻化する医師・看護師不足及び赤字の公立病院に支出している公費が膨らんでいることなどがあると思われる。ただ今回、病院の実名が公表されたことについて、市民の多くが不安に思っている。地方の病院は住民の暮らしを必死に守っている。地域の医療実態を無視した公表

**質問** 乳児用液体ミルクは常温で保存でき、断水や停電がおきた場合に活用できるもの。導入を検討してはどうか。  
**答弁** 保存期間が短く、高価であること。冷たいままでミルクは飲まないと考えられるため、導入は考えていない。

**質問** この度の災害では、避難や見回りなどで、自宅外で被災した人が3割を超えた。自宅で亡くなった人では高齢者が目立ち、一人暮らしなどで早期の避難が困難だった可能性が指摘されている。避難についてさらに具体的な方法を示す必要があると思うがどうか。  
**答弁** 各自治会による要支援者避難行動計画の作成と、その実効性を高めるための避難訓練の実施をお願いしている。今後も防災塾等を通じ、自治会と取り組みを行なっていく。

**質問** 「被災市区町村応援職員」と思われる。今後の阿賀野市地域医療体制の充実・確保について伺う。  
**答弁** 厚生労働省の公表は、全国一律の基準による分析に基づいて機械的に選定されており、地域の実情が一切配慮されていないものと認識している。あがの市民病院維持、存続の必要性をしっかりと主張し、地域医療体制の確保に努める。

## 新潟県立阿賀野高校について

**質問** 令和2年度から県立阿賀野高等学校は「総合選択制の高校」となる。平成17年に、創立95年の水原高等学校と創立30年の安田高等学校の伝統を引き継ぎ、現在に至っている。地域の皆さんの協力や支援により、「5日間のインターンシップ」、「意識啓発講演会」、「企業見学」な

確保システム」に基づく対口支援の受入体制は整っているか。  
**答弁** スムーズに職員支援が受けられるよう、受援計画の策定について検討したい。

**質問** 地球温暖化による洪水発生頻度は倍になるとの予測がある。今後、防災の取り組みをどのように考えていく必要があるのか。  
**答弁** 危険が回避できるように国、県への働きかけを行うとともに、ハードを整備しつつ、ソフト事業として市民への防災に関する啓発を行なっていく。



どを実施するとともに、地元企業と連携して「地域資源を活かした商品開発」などを行っていき。今後の大切な地元阿賀野高等学校の活性化について伺う。  
**答弁** 阿賀野市においては、インターンシップの受け入れの協力等地元企業と連携して取り組んでいる。今後においては、引き続き、皆さんのご意見提案をお聞きしながら、阿賀野高等学校活性化に向けたより有効な施策などを検討していく。



無会派  
山賀 清一

## 災害に関する件について

**質問** 台風15号と19号が相次いで猛威を振るったために、堤防の決壊やら大変な災害被害が発生した。電柱をなぎ倒し、樹木が倒れ、広範囲に渡り損壊停電を引き起こし、河川の氾濫や土砂災害の激甚化現象が起きた。この点の反省も踏まえ当市のマップ、マニュアルは十分に現段階で機能万全と言ったことが可能なのか。また、避難者に対して万全な体制がとれるのか。更には、問題のゴミ回収処理の方法等の連携は十分組まれているのか。市内土木建設関係の方にはどの

ような動員組織体制の徹底がなされているのか。市内全域を見た場合、低地の為に非常に危険をはらんでいる状況。不安を和らげる方法を今から趣旨徹底、指導教育が必要。この件についてどう考えているのか。災害対策基本法も改正され、被災者の支援も行政の務めである。運営ガイドラインの徹底はどうか。  
**答弁** 国土交通省直轄管理である阿賀野川では、台風19号で氾濫危険水位を超えたことにより阿賀野市内36自治会に避難勧告を発令。洪水想定ハザードマップを全戸配布。防災計画全面改訂と併せ、付随するマニュアルの見直しも行っており安心してつなげたいと考えている。ゴミの回収処理の連携は、事業者と緊急連絡網を作成し備えている。



無会派  
横井 基至

## 循環型農業の推進について

**質問** 地元産の堆肥を活用した水稲、園芸農業の生産性の向上に向けた取り組みについて伺う。  
**答弁** 水稲では、減農薬・減化学肥料栽培や稲発酵粗飼料(稲WCS)等に、園芸では、えだまめや切り花等に施用している。

**質問** グリーンアควアセンター、ゆつきセンターの経営状況は。  
**答弁** 指定管理制度により管理運営を行っており、毎年の事業報告では黒字経営となっている。機械や施設の老朽化に伴い、

維持管理費や修繕費が年々増加しており、これらの経費を補うためには、2施設で製造される堆肥の安定的な販売が求められている。

**質問** 堆肥の販売で家畜のふん尿の処理コストを賄うには、販売量、またどの程度の散布面積が必要か。グリーンアควアセンターで言えば、あと1000トンの堆肥販売があれば、酪農家の施設使用料の追加負担分を賄える試算もある。  
**答弁** 1000トンであれば、200ヘクタールの散布面積になる。

**質問** 阿賀野市産の堆肥の販売、市内での使用促進に対する市の協力体制、また、さらなる散布助成の拡充について伺う。  
**答弁** 市としては、安全安心農産物生産推進事業や環境保全型農業直接支援事業で支援している。しかし、もっと堆肥を使い

たいという声は聞こえてこない。  
**質問** 酪農家の事業継続・継承を憂う声もあるが、酪農の維持や拡大に対する市長の考えを伺う。  
**答弁** 何を根拠に言っているかわからない。  
**質問** 農業振興における総括を伺う。  
**答弁** 儲かる農業・魅力ある農業の実現に努めてきた。市の独自施策や国、県の事業を活用し、高品質、良食味米の生産、農作業の省力化に結び付けてきた。圃場整備をはじめ農業基盤の整備を図ってきた。自然災害被災した農家への支援も行ってきた。

## 無電柱化について

**質問** 電柱大国の汚名返上、本格的に取り組み今回の台風で大変な災害、生活の困窮をまねいた。国土交通省としてもっと積極的に取り組み、県、市町村、電力会社も真剣に捉えるべき。その努力は。  
**答弁** 災害時の電柱の倒壊、道路の寸断を防ぐ目的で進めている。緊急輸送道路として指定された国道49号、290号、460号等幹線道路を優先し、無電柱化に向け道路管理者である県と課題を整理する。



堆肥散布の様子

11月10日に分田3自治会の皆さんと意見交換をしました。

質疑、意見の一部を紹介し  
ます。なお、掲載内容は要  
約してありますのでご了承  
ください。詳しい内容は、市  
ホームページ「市議会のペ  
ージ」に掲載しています。

**観** 防災行政無線が聞こえないし、  
ゆっくりで何を言っているのかわ  
からない。

**答** 防災行政無線は、災害時や緊  
急時において市全域の市民の皆様  
へお伝えしなければならぬため、  
音響測定を実施し、地域ごとに適  
正な放送音量を確認した上で、市  
内134か所に外部スピーカーを  
設置しています。

今回の台風19号による避難勧告  
の発令に際しては、避難地区を限  
定したため、該当自治会の防災行  
政無線による放送、自治会長への  
電話連絡、市ホームページへの登  
載、安全安心メールへの送信、広  
報車による巡回広報、県を通じて  
NHKのデータ放送等により情報  
周知を行いました。

また、安全安心メールは、防災  
行政無線で放送される内容が送信  
されますので、「防災行政無線が聞  
こえない。」といった場合でも内容が  
確認できますので、自治会全体で登  
録いただきますようお願いしま  
す。



分田3自治会の皆さん19名が参加

**観** 災害時の食料の備蓄はどのく  
らいあるのか。また、避難所での  
食料を出す基準がわからないので、  
避難した人たちには不満があった。  
**答** 市では、災害時の食料につ  
いて「各家庭で3日分の備蓄をして  
いただきたい。」と市民の皆様へお  
願いをしています。地震等の災害  
により、家庭で備蓄している食料  
等が家から持ち出せない場合を想  
定し、県から示されている基準に  
基づいて食料備蓄を行っています。

今回の台風19号による避難にお  
いては、災害レベルに至っていな  
いこと、ライフラインにもダメー  
ジがないことから、家庭での備蓄  
食料の持ち出しが可能、避難所近  
辺のスーパーやコンビニ、食堂等  
が通常営業をしている等の理由に  
より、水や備蓄食料等の提供は行  
いませんでした。

今後も避難に際し時間的な余裕  
がある場合は、自分が必要とする  
もの、服用している薬、備蓄食料  
等を持参の上、市民の皆様から避  
難所においていただきたいと考え  
ております。

なお、避難が長期化するような  
場合は、県内外からの食料支援や  
自衛隊による炊き出し支援がなさ  
れることとなります。

**その他** 園芸振興補助金の要望、ふ  
るさと納税の金額や件数、議員の  
防災時の活動、道の駅の進捗状況  
人口減少問題に関する質問や意見  
が出されました。

いただいたご意見を参考に、  
政策立案等に役立てていきたく  
いと考えています。これから  
も多くの市民の皆さまからご  
参加いただきますようお願い  
いたします。

### 次回3月定例会の予定

月 日	会 議 名
2月18日(火)	議会運営委員会(定例会の運営方針決定)
2月28日(金)	本会議(施政方針、議案上程、一般質問)
3月 2日(月)	本会議(一般質問)
3月 5日(木)	本会議(一般質問)
3月 9日(月)	総務文教常任委員会
3月10日(火)	社会厚生常任委員会
3月11日(水)	産業建設常任委員会
3月12日(木)	
3月13日(金)	予算審査特別委員会
3月16日(月)	
3月19日(木)	本会議(委員長報告、採決)

2月18日の議会運営委員会で正式に決定します。  
その後、市ホームページでお知らせします。

### 議員としゃべりましょでば!



皆さんのもとへうかがい、意見交換・議会報告をいたします。  
自治会・団体・グループ等でお気軽に申し込みください。

まちづくりポイント  
対象事業です



**【会 場】**

原則、市内の公共施設・地区公会堂等  
※使用料が必要な場合は、団体で負担してください。

**【申込方法】**

申込書を議会事務局へ提出してください。  
申込書は議会事務局に用意してあるほか、ホームページからもダウンロードできます。

※お問い合わせはお近くの議員または議会事務局へ

### 黒板アートが公開されました



このQRコードを読み  
取ると、作品紹介が  
ご覧いただけます。

平成26年に閉校となった旧前山小学校を活用する事業の一環として、教室の黒  
板を利用した黒板アートが11月9日～12月1日一般公開されました(公開終了)。  
武蔵野美術大学の学生5人から阿賀野市の地域資源をモチーフに制作していた  
だいたもので、制作の様子や制作者のコメントがYouTubeでご覧いただけます。



水面に降り立った白鳥を描いた  
「阿賀野の白鳥」



安田瓦の鬼瓦をテーマにした「くわっ」

### 阿賀野経営者同友会との 懇談会が開催されました

11月25日、阿賀野経営者同友会主催の懇談会に市議会  
より15名が参加しました。

常任委員会ごとに分  
科会形式で開催され、  
阿賀野高校のイメージ  
アップ、新しい条例の  
考案、道の駅づくりに  
ついて、阿賀野市の地  
域活性化のために意見  
交換しました。



### 阿賀北四市議会議長会議員研修会が 開催されました

11月21日新発田市で阿賀北四市(新発田市、胎内市、村  
上市、阿賀野市)の議員研修会が開催され、正副議長、議  
会運営委員会、各常任委員会の正副委員長が出席しました。

月岡温泉観光協会専務理事、合同会社ミライズ執行社員  
の飯田武志様より、月岡温  
泉街づくり事業の取り組  
みと、空き家空き店舗を再生  
した特色ある店舗の展開等  
について、ご講演いただき  
ました。



### 中島正昭議員 逝去

中島正昭議員が昨年の11月9日逝去されま  
した。

平成8年4月に水原町議会議員に初当選し、  
阿賀野市議会副議長、産業建設常任委員会委  
員長、社会厚生常任委員会委員長を務められ  
るなど市政の発展と市民生活の向上に貢献さ  
れました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥  
福をお祈りします。

### 議会の情報は市ホームページをご覧ください

<http://www.city.agano.niigata.jp/site/gikai/>

スマートフォン、タブレット端末でもご覧いただけます。

本会議は、中継映像・録画映像でご覧になれます。



発行：阿賀野市議会  
編集：議会改革推進特別委員会 広報部会  
〒959-2092 阿賀野市岡山町10番15号  
TEL:61-2489 FAX:61-2067  
E-mail:gikai@city.agano.niigata.jp

次号は令和2年3月31日発行の予定です。

議会改革推進特別委員会  
副部会長 倉高 遠 横山 賀 広報部会  
部会長 島橋 藤井 賀 清一  
副部会長 倉高 遠 横山 賀 広報部会  
部会長 島橋 藤井 賀 清一

新年おめでとごうございます。  
新元号令和での初めての正月を迎え、  
いかがお過ごしでしょうか。  
昨年は議会だよりの発刊にあたり、ご  
協力ありがとうございました。広報部会  
では読みやすい紙面づくりを心がけて参  
りました。紙面づくりの中で議会報告会  
における自治会や団体等からいただいた  
まちづくりへのご意見は、大変貴重です。  
本年も議会報告会へのご参加をお願いし、  
併せて、議会だより編集へのご意見をお  
寄せいただけたら幸いです。

広報部会員 遠藤 智子

### 編集後記

